

1982瀬田貞二／落穂ひろい、福音館書店

1971-1975雑誌／母の友に連載

日本の子どもの文化をめぐる人びと

第一章 京から江戸へ 往来物、お伽草子、絵巻と奈良絵本、初期刊本、江戸の本屋

第二章 赤小本、赤本の黄金時代、

第三章 草双紙その後、黒本、青本、黄表紙そのほか、戯作者たちのしごと

第四章 記録された子ども 幼年記録と漢文戯作（げさく）、俳句、川柳、旅行記、

三馬、一九、行智、茶箱廣重 双六、おもちゃ絵

第五章 絵師たち (p.243)

一 祐信（すけのぶ）・守国（もりくに）・春卜（しゅんぼく）ほか

・絵本は西川（p.243） *西川祐信（1671-1751） *すけのぶ

「絵は子どもの目を楽しませるばかりではない。労せずして万里の遠景を見、文章の及ばない境にも、のぞませるものだ。」

「この国にして、この国の風俗をきわめたならば、楽しいことではないか。だから私は、もっぱら和画に心をいれて描くのだ」

・絵手本と図鑑（p.248）

橘守国（1679-1748）*もりくに 和漢の故事、鳥獸草木、四時、山水を取り入れ、百科図鑑、絵手本とした。

1714絵本故事談、8巻

1719唐土訓蒙圖彙（もろこし きんもうづい）、15巻

1720絵本写宝袋（えほんしゃほうぶくろ）、9巻

1729絵本通宝志（えほんつうほうし）、9巻

1740画本鶯宿梅（えほんおうしゆくばい）、7巻 *芥子園画傳（かいしえん がでん）の影響

1749運筆麿画（うんぴつ そが）、3巻 *即興の草画（そうが）（瀬田）私
はとりません

大岡春卜（1680-1763）*しゅんぼく

1746明朝生動画園（みんちょう せいどうがえん）、 *明朝紫硯（みんちょう
う しけん） 合羽摺（かっぱずり）

1720（享保5）軽筆鳥羽車、鳥羽絵三国志、鳥羽絵扇の的 *春卜でない

・京都諸派の諸絵手本（p.252） 中路定年（なかみち さだとし）、石仲子（せ
き ちゅうし） 僧古礪（こかん）

・享保（1730s）の文化的傾向（p.256）

・祐信の継承者（p.257）

長谷川光信（-1730s-1750s-） 鳥羽絵（とばえ）

・上方（かみがた）の武者絵本（p.261）

月岡雪鼎（1710-1786）（77） *せってい

・その大成と影響（p.262）

下河辺拾水（-1760s-1780s-） *しもこうべ じゅうすい

二 重政（しげまさ）と蕙齋（けいさい）

・北尾派というもの（p.263） *重政は谷素外（そがい）に師事

北尾重政（1739-1820）

・重政の業績（p.266） *弟子に政演（まさのぶ）（=京伝）、政美（まさよし）

1773江都二色（えど にしき） 54図に88種類のおもちゃ

1776青樓美人合姿鏡（せいろうびじんあわせ すがたかがみ） *春章
（1743-1792）（50）と合作

・絵本のインベントアー（p.269）

北尾政美*（1764-1824） *まさよし 政美も立版古（たて ばんこ）がある
（未見） 切り抜き

1789来禽圖彙 *陰影法

・蕙齋*（けいさい）の略画式（p.271）

1794（寛政6）津山侯・松平康哉のお抱え絵師として鋏形蕙齋（けいさい）

1794（寛政6）諸職画鏡（しょしよく えかがみ）

1797（寛政9）鳥獸略画式

1800（寛政12）山水略画式

1802（享和2）海の幸 （雁註）龍の宮津子、誤認

1802（享和2）龍の宮津子（たつの みやつこ） 谷素外（1734-1823）（90）・
俳諧 *魚貝譜（後版は俳諧を削除）

1802（享和2）魚貝譜 *初版、龍の宮津子、俳諧を削除したもの（瀬田）
見していない

1808（文化5）人物略画式

1812（文化10）草花略画式（瀬田）見っていない

鳥瞰図 江戸全図

三 おもしろい試み

・浮世絵のなかから（p.276）

宮武外骨*（1867-1955）／此花（このはな） *がいこつ、亀四郎

- 1 影絵 (p.277) 一、シルエット 二、物体に光を当てて障子に写す (影法師遊び) 三、竹串に刺し、スクリーンに写す
- 2 目付絵 (めつけ) (p.278) 1730s享保年間 *十九番目 猿と兎 (うさぎ) はおどり越して数えない
- 3 文字絵 (p.280) へのへのもへじ へまむし入道 ほのぼのと...
- 4 填絵 (はめえ) (p.281) 國芳/人あつまって人となる
- 5 両面絵 (p.283) 芳藤/あねさまづくし *切り抜いて両面で貼り合わせる
- 6 凧絵 (たこえ) (p.283) *紙鳶 (たこ)
- 7 判じ絵 國盛/さかなの はんじもの *難解なものも多い

四 北齋・廣重・國芳

○北齋 (1760-1849) の位置 (p.287) *浮世絵学 北齋画号一覧ほか参照

1800 (寛政12) 東都名所一覽

1800 (寛政12) 画本東都遊 (えほん あづまあそび)

1801 (享和1) 潮来絶句

1806 (文化3) 隅田川兩岸一覽

・北齋の絵手本 (p.289)

1 必ず動くものを描いている。2 量感のあるもの。 *割物 (わりもの)、割り出し 円、角の規矩 (きく) 法

1812-1814-1815 (文化9-文化12) 略画早指南 (りゃくが はやおしえ)

*方と円に帰する 近代絵画理論に先駆けて解いている

1814-1834 (文化11-天保5) 北齋漫画1-12編

1816 (文化13) 三体画譜

1817-1841 (文化14-天保12) 画本早引

1848 (嘉永1) 絵本彩色通

○廣重 (1797-1858) の戯画 (p.292)

1845-1851 (弘化3-嘉永4) 草筆画譜、全4 (瀬田) さらりとした味

1852 浄るり繁花の囃 大1

1858 古今浄瑠璃尽 大1 *浄瑠璃を惚けた戯画にしている

1850-1867 (嘉永3-慶應3) 絵本江戸土産 全10

双六 東海道だけでも12種類

値段 極上の奉書紙 50文

國貞の役者 36文

廣重の風景 24文

凧絵、おもちゃ絵、戯画 16文

○國芳 (1797-1861) の創意 (p.294)

5-6歳の頃から、重政の武者鞋(むしゃ わらじ)、政美の諸職面鏡を見て、自発自得

兄弟子の國直(1793-1854)の指導を受けた

嵌(は)め絵 人かたまって人になる 見かけは こわいが とんだいい人だ
人をばかにした人だ としよりのようふな若い人だ

其面影程能写絵(そのおもかげ ほどよく うつしえ) 金魚と緋鯉(漁師と狸)

猫飼好五十三疋(みょうかいこう ごじゅうさんびき) 大3 *東海道五十三次の猫見立て

第六章 鼠・武者・花咲爺 (p.307)

一 鼠の嫁入り

・鼠のパレード (p.309) *室町時代、可愛いねずみを擬人化して、子供向けの絵巻物、草子が出版された

- 1 1740c (元文寛保) 西村重長／ねづみのゑんぐみ (柱題、よめいり)
- 2 1775c (安永) 富川吟雪 (ぎんせつ) ／福鼠新嫁入雛形 (青本)
- 3 1810c (文化) 春川 (しゅんせん) ／鼠のよめ入
- 4 1840c (天保) 二酔亭佳雪 (かせつ) ／福鼠嫁入咄
- 5 1860c (安政万延) 一川芳員 (よしかず) ／鼠のこん礼 (内題、新板鼠のよめいり)

二 武者絵本

・英雄伝説の推移 (p.321) 頼光 (よりみつ)、四天王。義経。曾我。公平 (きんぴら) 浄瑠璃

赤本、黒本。頼光、義経、金時、景清、頼朝、鎮西八滝、弁慶、実盛、清盛、楠、信玄、天神、聖徳太子

- 1 1850c (嘉永) ／頼光一代記
- 2 1858 (安政5) ／頼光記
- 1870c (明治) ／頼光一代記

・幕末の武者絵本 (p.323)

三 花咲爺 (はなさきぢぢ)

・物語絵本の推移 (p.330)

- 1 1794 (寛政6) ／新玉はな咲物がたり
- 2 1818 (文化15) ／花サキ
- 3 1828 (文政11) ／花咲ぢぢ *はなさき

4 1850 (嘉永3) / 昔話花咲爺 *はなさき

第七章 遊びに遊ぶ (p.337)

一 遊びの記録

- ・ 風俗考証の集成 (p.339)

1830喜多村 節信 (1784-1856) / 喜遊笑覧 *ときのぶ *筠庭 (いんてい)
全5 (岩波文庫、索引)

- ・ 名古屋の記録者 (p.345)

小寺玉晁 (1800-1878) * ぎよくちょう 名古屋

1818-1842 (文政1-天保12) / 見世物雑誌

- ・ 名主の篤実な探求から (p.346)

斎藤幸成* (1804-1878) *月岑 (げっしん)

斎藤幸雄、幸孝、幸成 / 江戸名所図絵 全7、20冊 *日尾荊山 (1789-1859)
に師事

1839東都歳事記 全5

1840聲曲 (せいきょく) 類纂 全5

1848c-1850武江年表 全12

1872 (明治5) 百戯述略 稿本10冊

- ・ 掉尾 (とうび) の大著 (p.349)

1853 (嘉永6) 喜田川 守貞* (1810-1868-) / 守貞漫稿 35巻 *もりさだ 大
坂の人 岩波文庫、5冊

二 江戸の子ども

・遊びに遊ぶこと (p.351) 豊かに時間をかけて遊びくらすこと *内イ帰 (け) へろ。蛙 (けえる) が鳴くよ

こままわし、かくれんぼ

・まま事そのほか (p.354)

・いたずらも遊び (p.358) あかり消し、品引き手、お尻のご用心

三 双六とカルタ

・盤双六*から紙双六へ (p.379) *ぼんすごろく バックギャモン

・道中双六そのほか (p.383) *子供出世すご六

・いろはカルタというもの (p.388) *子供あそび双六 *漱石は「へ」 放屁する癖があった

付記 *本文改稿のためのメモ

何か御気付きの点があれば御教示ください。酒井 雁高 (がんこう) 浮世絵・酒井好古堂主人 学芸員 curator 浮世絵・酒井好古堂 浮世絵鑑定家 [浮世絵学] 検索 <http://www.ukiyo-e.co.jp>

SAKAI_gankow, curator, professional adviser of ukiyo-e 文化藝術懇話会
100-0006東京都千代田区有楽町1-2-14 電話03-3591-4678 Fax03-3591-4678
E-mail: gankow